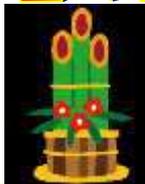




# 県立三好病院



平成26年1月・2月号

## 今の特集:肺炎球菌ワクチンについて



新年明けましておめでとうございます

富士山の世界文化遺産登録、2020東京オリンピック開催決定、リニア中央新幹線ルートを発表など大きな話題が続き、将来に明るい期待が持てる萌しを感じられます。

三好病院でも、一昨年着手された高層棟の建築が皆様方のご協力で順調に進んでおり、予定通り今年夏ごろには開院予定です。放射線治療が可能になること、緩和ケア病棟ができること、最新医療機器（CT、MRI、DSA）が導入されること、

屋上ヘリポートなどが大きな目玉です。

平成24年度「徳島県地域がん診療連携推進病院」に指定され、さらに長年懸案となっていました「地域医療支援病院」の認定申請も視野に入ってきました。「徳島県にし阿波3病院連携後期臨床研修医募集」も昨年からは開始し、今年から徳島県西部圏域医療情報ネットワーク事業が始まります。

このように三好病院は、「急性期医療」「がん医療」「救急医療」「災害医療」の地域中核病院として一歩一歩、確実に前進しています。今年も、医療安全に努め、医療の質を高めることはもちろん、新病院に向かってのスタッフの確保・養成を進め、地域の皆様方に信頼される快適で魅力ある病院を目指したいと思っています。

今年もご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

### ~県立病院事業基本理念~

県民に支えられた病院として  
県民医療の最後の砦となる

発行 徳島県立三好病院 広報委員会  
〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ 815-2  
TEL 0883-72-1131 FAX 0883-72-6910  
HP <http://www.tph.gr.jp/~miyoshi/>

### 臨時看護師募集

県立三好病院では臨時看護師、  
臨時准看護師を随時募集しています。  
詳しくは県立三好病院看護局  
(内線243)まで



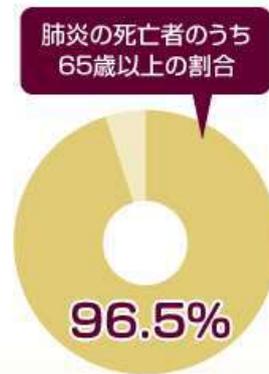
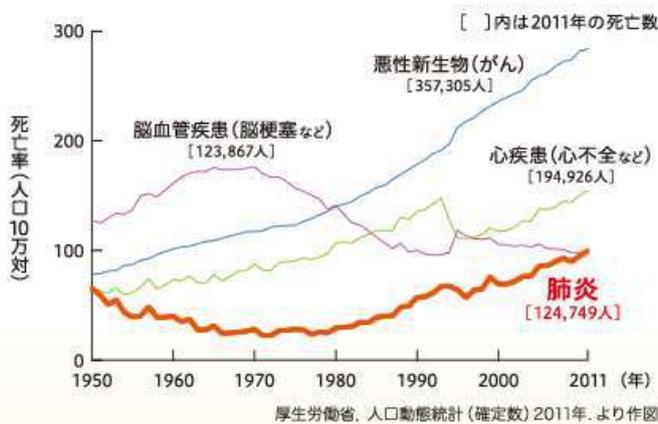
# 肺炎球菌ワクチンについて

呼吸器内科 美馬 正人

## 1. はじめに

肺炎は、日本人の死因第3位の疾患です。しかも、肺炎によって亡くなる方の95%以上が65歳以上であるといわれています。成人肺炎の25~40%は「肺炎球菌」が原因と考えられており、特に高齢者での重篤化（重症化）が問題になっています。特に、**高齢者の肺炎の約半数は、肺炎球菌が原因**とされています。

【日本における死因別にみた死亡率の年次推移】



厚生労働省、人口動態統計(確定数)2011年、より

## 2. 肺炎球菌ワクチンとは

高齢者の肺炎の中で、最も頻度の高い「肺炎球菌」という細菌感染を予防するワクチンです。肺炎球菌には、80種類以上の型がありますが、肺炎球菌ワクチン接種により、そのうち23種類に対して免疫をつけることができます。接種により、肺炎球菌による肺炎の8割に効果があるといわれています。ただし、肺炎球菌ワクチンは、**肺炎のすべてを予防するワクチンではありません**。しかし、接種することによって、**重症化防止などの効果が期待**されます。肺炎球菌ワクチンの免疫効果は5年以上にわたって持続するといわれています。肺炎球菌に対する免疫ができると、肺炎にかかっても軽い症状ですむ効果があります。

## 3. ワクチン接種がすすめられる方

以下に該当する方は、成人用肺炎球菌ワクチンの接種が勧められています。

- 65歳以上の方
- 養護老人ホームや長期療養施設などに居住されている方
- 慢性の持病をお持ちの方（呼吸器疾患、糖尿病、慢性心不全、慢性肝疾患など）
- 病気や免疫抑制療法のため感染症にかかりやすい状態にある方
- 脾臓摘出などで脾機能不全のある方

## 4. 副反応（副作用）について

接種した方の5%以上に局所の疼痛、熱感、膨張、発赤が認められます。また、わずかに、筋肉痛、倦怠感、違和感、悪寒、頭痛、発熱がみられることもあります。いずれも症状は軽度で2～3日位で消失します。重大な副反応としては、アナフィラキシー様反応（アレルギー反応）などがあります。ただし、肺炎球菌ワクチンは国内において20年以上の使用実績がありますが、局所反応の頻度は高く報告されているものの、安全性については大きな問題は認められておりません。

## 5. 肺炎の予防について

肺炎を防ぐには、毎日できる予防の一環として、うがい・手洗い・マスクの着用などがあります。また、日頃から、持病の治療につとめたり、禁煙をしたり、からだの抵抗力（免疫力）を高めたりするようなことも有効とされています。その他、あわてて食べ物を食べたり飲んだりしないことや、口の中を、つねに清潔に保つことなども大切と考えられます。



## 6. インフルエンザと肺炎

インフルエンザ感染をきっかけに感染に対する抵抗力が弱まり、そこに細菌感染を起こすことで、肺炎にかかることがあります。そこで、インフルエンザワクチンでインフルエンザを予防することも、肺炎予防につながります。

## 7. 費用等について

予防接種は、自由診療にあたり、健康保険の対象外になります。病院によって費用にバラつきがあるようですので、詳しくは、各病院にご確認ください。また、お住まいの自治体（市区町村）によっては、助成金制度があるところもあります。制度についてお知りになりたい方は、各自治体へお問い合わせください。

※ 三好市/東みよし町在住の75歳以上の方は、高齢者肺炎球菌予防接種公費補助 [平成26年3月31日まで (平成25年11月1日現在)] があります。ただし、委託医療機関での接種になり、当院は該当していません。

## 8. さいごに

その他、肺炎球菌ワクチンについて、分からないことがあれば、一度外来主治医と相談  
御意見、御要望がございましたら、ホームページ、または院内御意見箱までお願いします。  
広報バックナンバーは、ホームページにて御覧いただけます。



私たち事務局は『地域医療を支える縁の下の力持ち』という理念に基づき、職員26名で業務に取り組んでいます。

今回はみなさんに病院内で事務局は一体どういった業務を行っているのか紹介させていただきます。

事務局は大きく分けて2つの課があります。

### 総務課

1. 職員の人事、給料、旅費、福利厚生
2. 災害対策
3. 病院内の備品や医療器械の購入
4. 病院内の施設・設備の管理

### 医事課

1. 病院経理・経営
2. 施設基準の取得・運用
3. 電子カルテシステム等の維持管理

## 総務課

### 〈総務担当〉

総務担当では、職員の人事、給料、旅費、災害対策など全職員に関係する幅広い業務を行っています。特に院内での医師、看護師、その他の職員や部署との調整が必要となる業務が多く、まさに縁の下の力持ち的要素が強い担当です。さらに新病院の開院準備に関しても様々な調整を行っております。工事中は皆様にご迷惑、ご不便をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 〈管財担当〉

管財担当では、病院の物流業務、購入業務、院内設備管理業務を行っています。業務内容は、価格交渉・物品供給・物流管理等病院の費用に直接関わる業務や、院内のボイラー運転、電気設備の保守業務等を担当しており、病院を実際に動かす上での重要な役割を担っています。今後は医療環境、経済情勢を見据えた購入戦略・コスト管理が一層重要視される重要な業務です。

## 医事課

### 〈企画経理担当〉

企画経理担当では、院内の日々の収入や支出の整理、病院の予算・決算の編成業務等の病院を運営するための金銭等に関わる業務を行っています。このような日々の業務に加え、毎月一度院内で経営戦略会議を開催しており、経営状況の分析や今後の課題等を検討することで病院経営の適切な運営に寄与しています。

### 〈医事・診療情報担当〉

医事・診療情報担当では、病院の基本方針に沿った施設基準の取得・運用、電子カルテシステム等の維持管理業務を行っています。また、今年度はこれらの業務に加え、連携医療機関間で医療情報を共有する西部医療ネットワークの構築や来年度の新高層棟開院に併せて開設する公的病院では初となる緩和ケア病棟の準備・調整を行っています。

事務局はこれからもチーム医療の一員として、他の部署と協力し質の高い医療サービスの維持を支えるように取り組んで参ります。